

特集 廃用症候群を予防する

入院治療から在宅に戻ってきた高齢者には、何より廃用予防の視点をもったケアが必要です。術後であっても過度の安静は廃用症候群をひき起こし、一方、慢性期の不活発な生活は、その人の生きる意欲を失わせ、うつ状態につながりかねない。こうしてみると、廃用予防は高齢者ケアの最前線です。

白十字訪問看護ステーションの取り組みから 前田知美
急性期病状の治療と廃用症候群の予防、退院支援について 坂田貴代
在宅での生活を可能にするために、早期離床をうながす
——NTT 東日本関東病院リハビリテーション科の取り組み 竹内新治
廃用予防に最も重要な口腔ケア 角保徳
廃用をまねく「長期臥床」とはどのくらいの時間をいうのか？ 安部能成

■特別記事

ある地域連携——西原明さんの最期をめぐって

中村洋一／西原由記子／萩尾信也／宮澤素子／関茂樹／秋山正子
福祉車両を利用する車椅子の方を安全・快適に乗降・固定するために 岩崎洋

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／在宅ケア もっとやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／訪問看護普及・拡大プロジェクト 青島耕平ほか／訪問看護による看取りの検証 菊井和子ほか／わたしのことをわたしから 富士雄大／せんねん村村長 老いを地域で活かす 中澤明子／精神科医の家族論 服部祥子／ほんとの出会い 岡田真紀／お母さんと いっしょ 横谷順子

編集後記

●これからの 20 年は、人類がはじめて遭遇する超高齢化社会。過酷な老後が待ち受けているのでしょうか。主役となる団塊世代は小学校の入学時から過酷(過密)を経験してきました。図書室や音楽室が次々に普通教室にかわり、教室は壁際まで机が入り、一クラス 58 人くらい。黙っていない高齢者として、福祉の先進国をただ羨むのではなく、学んで自分たちでやってみよう、草の根の活動が普通になっていく予感がします。…………伊藤
●今号「マグネットステーション インタビュー」でお邪魔させていただいたのは、いわゆる中山間地域にあるステーション。あまり雪に縁のない生活を重ねてきた私にとって、冬期のお話はどれも興味深く、驚きの連続でした。積雪時の自動車事故がなくなることを祈るばかりです。…………富岡

訪問看護と介護 第15巻 第1号(通巻163号) 2010年1月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2010, Printed in Japan

1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめ予約購読料13,200円(年間12冊, 税込, 送料弊社負担)

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円(税込, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5659/社内案内:03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:富岡・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCOPY】<(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, E-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/09/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。